

C
4

ポータルサイトやモバイルアプリ活用で街の情報発信と魅力を向上

鶴岡銀座商店街振興組合

住 所	〒997-0034 山形県鶴岡市本町1-4-23		
U R L	https://tsuruokaginza.tsuruoka-shotengai.com/		
設 立	昭和31年11月	主 な 業 種	小売業・サービス業
組 合 員 数	63人	出 資 金	13,267千円

■背景・目的

山形県庄内地域の中心商店街である鶴岡銀座商店街では、昭和63年度から平成3年度まで街区の改造整備事業を実施し、ポイントカードなども導入したが、その後、郊外への大型商業施設などの相次ぐ出店により年々来街者が減少し空き店舗が目立つようになったため、様々な打開策に取り組んできた。こうした中、令和2年に国の「GoTo商店街事業」を活用して、Webポータルサイトの構築、モバイルアプリの開発、空き店舗活用などの新規事業に取り組むこととなった。

■取組みの手法と内容

組合理事が中心となって、「GoTo商店街事業」の説明会に参加してそのメリットを知り、当補助金を活用する方針を固めて、組合員への説明を重ねた。当商店街は物販店が大半であり、また中心街区全体としての集客力や魅力の向上が必要であるとの認識から、飲食店など業種構成を異にする隣接2商店街と連携して申請を行うこととした。

令和2年度の事業計画採択後は、Webポータルサイトの構築による商店街の店舗紹介、動画配信、モバイルアプリの開発など、主にICTを活用した事業に取り組んできた。事業の申請から運営まで、組合理事が中心となって取り組んできたが、高齢の組合員も多いため、デジタル化に関わる内容の説明が難しく、納得してもらうまで何度も根気よく説明を重ねながら事業を進めてきた。

令和3年初めには3商店街共同のWebポータルサイトが構築され、各商店街の店舗紹介やイベントなどの情報提供を開始し、動画(YouTube)についてはイベント(寒鱈祭り)の様子を配信した。また、モバイルアプリの開発については、商店街マップ・店舗情報・イベント情報の提供、店舗検索、ECサイトによる販売、ポイント機能、販促用チケットなど多彩な機能を有するため、各機能の完成度を高めながら徐々に浸透を図っている。

■成果とその要因

「GoTo商店街事業」を活用した各取り組みにより、中心商店街の情報発信力が高まり、各店舗の特徴や駐車場の情報なども顧客に伝えやすくなった。モバイルアプリの本格的な活用はこれからであるが、旧来のポイントカードでは出来なかった多様な機能を有しており、ダウンロード数の増加とともに顧客とのコミュニケーションツールとして本格的に活用されるものと思われる。空き店舗を2店埋めることができたが、これも3商店街の連携と情報共有・発信力の強化による成果といえる。



寒鱈まつり開催時の商店街の様子



寒い冬に嬉しい熱々の寒鱈汁が提供される

地域の魅力発信開拓



組合理事が中心に国の補助事業を積極的に活用したこと、組合員の理解を深めるため説明を丁寧に行ったこと、隣接商店街やTMOと連携して活動を進めたことが成功要因といえる。